

地域公共交通計画における数値目標の経過

全体の評価指標	現状 (2021)	目標値 (2028)	経過 (2023見込)	経過の分析
●バス・デマンド型乗合タクシーの利用者数	133,307人	160,000人	150,141人	・感染症の影響緩和や、公共交通無料デーなどのMMの実施で利用者数が回復した。 ・145,205人→150,141人
●鉄道駅の乗降者数 (坂出駅、八十場駅、鴨川駅、讃岐府中駅)	3,593,347人 (2020年)	4,461,000人	3,880,280人 (2022年)	・感染症の影響緩和で利用者が増加した。 ・3,579,951人(2021年)→3,880,280人(2022年) ・2023年も収入ベースで増加傾向(運賃改定の影響も)
●バス・デマンド型乗合タクシー全体の収支率	17%	現状より改善	16.49%	・物価高騰等による費用増加で悪化した。 ・17.95%→16.49%
●バス・デマンド型乗合タクシー全体の収支差	▲ 134百万円	現状より改善	▲ 145百万円	・物価高騰等による費用増加で悪化した。 ・▲138百万円→▲145百万円
●バス・デマンド型乗合タクシーの公的負担投入額(国・県・市の補助合計)	112百万円	現状より改善	128百万円	・費用増加により、公的負担投入額が増えた。 ・122百万円→128百万円

基本方針に基づく評価指標		現状 (2021)	目標値 (2028)	経過 (2023見込)	経過の分析
方針Ⅰ	●循環バスの利用者数	52,413人	60,000人	59,924人	・感染症の影響緩和で、利用者数が回復した。 ・56,076人→59,924人
方針Ⅱ	●生活利便施設への新たなアクセス件数	—	3件以上	8件	・ハローズ林田店(王越線R4.10) ・マルナカスーパーセンター(循環バスR5.10) ・スーパーマーケット3箇所、総合病院3箇所での乗降対応(R5.10デマンドタクシー)
	●乗り方教室等のモビリティマネジメントの実施件数	5件	現状以上	12件	・幼稚園・保育園・こども園で8回(予定) ・商店街や駅前のイベントで4回出店 (バス2回、タクシー2回)
方針Ⅲ	●新たな企画乗車券の発行	—	実施	4種類	・R5.10～利便増進事業として、中心部フリー1日乗車券、全線フリー1日乗車券、中心部フリー定期券、坂出市民割プリペイドチケット
	●重点維持路線の収支率	17%(島) 19%(王越)	現状より改善	14.7%(島) 18.9%(王越)	・瀬戸大橋線は収入の増加を上回る費用の増加があり、収支が悪化した。 瀬戸大橋線：15.3%→14.7% 王越線：22.1%→18.9%
方針Ⅳ	●協議会等の開催回数	2回 (計画策定を除く)	協議会2回以上 分科会2回以上	協議会2回 分科会2回	・計画策定にあたり、協議会・分科会を実施。計画策定後も、分科会・協議会を開催し、PDARUサイクルの実施。
	●地域組織の数	—	2組織以上	1組織と連携	・「王越ささえ愛隊」と連携し、王越地区の生活移動手段確保のために協議を続けている。
	●市主催イベントでの公共交通活用事例数	—	2回/年以上	3回	・生涯学習課主催の「トンボ学校」イベントでの王越への移動手段として3回。
方針Ⅴ	●GTFSデータのオープンデータとしての公開	—	実施	R4.11 全線で実施	・R4.11市ホームページでオープンデータとして公開。香川県の協力を得て、香川県オープンデータカタログサイトにも掲載。
	●SNSでの情報発信回数	—	1回/月以上	随時実施	・坂出市公式twitter、LINE、youtubeにてイベントや運行計画について随時広報を実施